

リスクマネジメント最前線

2011-7 (3月24日)

東京海上日動火災保険株式会社
企業営業開発部
〒100-8050
東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589
FAX 03-5288-6590
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社
http://www.tokiorisk.co.jp/

<東日本大震災 臨時号 No.3>

計画停電地域での交通リスク ～警察官等による交通整理の実態～

東日本大震災による計画停電により、交差点では信号が消灯し、多数の警察官等が手信号による交通整理にあたっている。本レポートでは、警察官等による交通整理の状況取材し、実際の交通状況から想定される事故及び対応方法について検討する。

交差点のリスク実態 ～警察官等が1名で交通整理を行うケース～

概要

計画停電中、信号が滅灯している交差点ではその大小や交通量に応じて多様な状況変化が想定される。警察官等の配置についても、各交差点の状況に合わせて人数や立ち位置も多様である。ここでは警察官等が1名で交通整理を行うケースの実態と事故リスクを検証する。

消灯信号交差点での交通実態



※写真は警察官による誘導の様子
都内にて、弊社研究員が撮影

a. 交差点に進入する際、交差点の端(右奥)に立って交通整理を行っている警察官等を認知出来ない場合がある。

⇒交通整理の実施を認識しないまま交差点に進入してしまい、出会い頭事故が発生する。

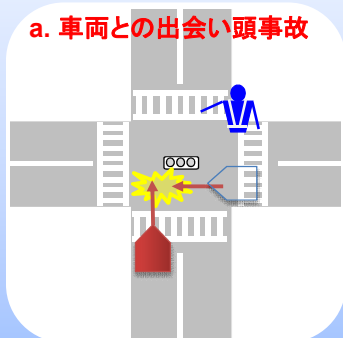
b. 警察官等が交差点内の全ての歩行者や自転車を捕捉できない(歩行者や自転車が警察官等の誘導に従わない)場合がある。

⇒歩行者や自転車の「信号無視」が多発し、車との接触事故が発生する。

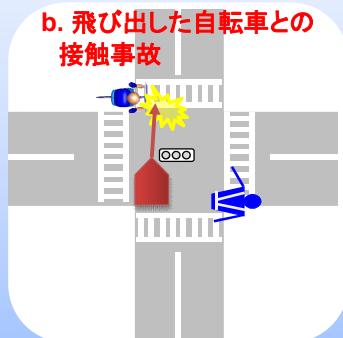
c. 前の車両が、警察官等の停止指示を認識するのが遅れ、交差点手前で急ブレーキとなる場合がある。

⇒交差点手前での追突事故が発生する(自車が急ブレーキをかけた場合、被追突となる)。

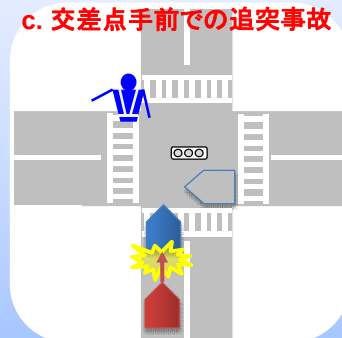
想定される事故



a. 車両との出会い頭事故



b. 飛び出した自転車との接触事故



c. 交差点手前での追突事故

対応・対策

- ①交差点を認知したら早めに減速を開始し、停止線の手前から徐行する。
- ②交差点手前では、交通整理を行う警察官等を自ら探し、指示内容を把握する(カーステレオの音量を小さくして窓を少し開ける等によって、笛による誘導を聞き漏らさないよう注意する)。
- ③通行可(青信号相当)であっても徐行通過する(左右からの歩行者・自転車の飛び出し、交差する道路から警察官等の指示を無視または理解せずに進入してくる車両に備える)。